

1 市町名 毛呂山町

2 課題をもとにした仮説

- ・全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果分析により、個に応じた児童方法を工夫することで、児童生徒一人一人の学力向上に結び付くであろう。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行うことで「分かる・できる」喜びを味わわせることにより学習意欲の向上に結び付くであろう。

3 効果的な取組の例

(1) 市町教育委員会における主な取組例

① 具体的な取組例

○毛呂山町学力向上対策委員会の組織的な取組

- ・小中一貫教育の視点により、小・中学校教員の意見をもとに、学習規律を含め、9年間を見通した指導方法を検討した。

- ・「学力向上毛呂山プラン」の検証を中心に進め、学力向上に効果のあった取組を重点項目に設定、実施した。

- ア 学習過程を明確にした授業づくり
- イ 個に応じたきめ細かい指導の充実
- ウ 基礎学力の重点指導

毛呂山っ子く小中一貫みんなの学習規律

学力向上毛呂山プラン

- ・埼玉県学力・学習状況調査結果分析により、学力を伸ばした学校の取組や教員の取組を共有した。コバトンのびのびシートの活用事例についても共有し、各学校における活用の充実を図った。

○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- ・「課題（めあて）・まとめ・振り返り」を確実に提示、実施している。学びの価値を高めるための振り返りを重視している。

授業の心得（ヒントシート）

黒板用マグネットシート

学び合いルール

②取組の成果と課題

成果

- ・毛呂山町学力向上対策委員会において、毛呂山町学力向上授業の心得（ヒントシート）を作成し、教員の「学習過程を明確にした授業づくり」と児童生徒の「1時間の授業の流れを意識した学習」に役立てることができた。

課題

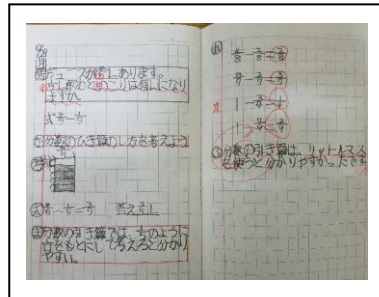
- ・小中一貫教育の実施に向け、学力向上毛呂山プランの重点項目について町内小・中学校教職員の「共通理解・共通行動・徹底」を推進していく必要がある。

(2) 重点校における主な取組例

①具体的な取組例

○児童の学びに着目した授業研究会の実施

- ・埼玉県学力・学習状況調査の結果を活用し、個に応じた指導の充実に焦点を当てた授業研究会を実施した。研究協議会では、児童の学びの様子を確認・検証した。



○課題や取組の共有

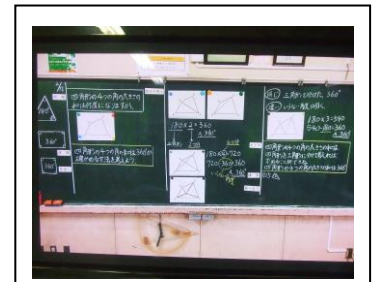
- ・全国学力・学習状況調査の問題を教職員が解き、求められる学力を意識することで授業改善につなげる。

○コバトンのびのびシート・コバトン問題集の活用

- ・児童の力に合わせ、課題となる分野の繰り返し学習を行い、学習内容の定着を図った。

○教師の指導力向上と授業改善

- ・「授業ハンドブック」の活用と指導徹底を行った。



②取組の成果と課題

- ・グループでの活動を取り入れた多様な指導法を用いることにより、補充的な学習や発展的な学習を取り入れることができた。加えて、県学力・学習状況調査の分析を生かしたり、児童一人一人のノートやプリントの添削を行ったりするなど、児童の特性を踏まえた指導の充実に図り、学級全体のレベルアップに取り組んでいくことができた。
- ・担任との連携を密にし、より効果的な指導を検討・実施するための時間を確保することが難しかった。